



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



### **総合6位 快走で地元を沸かせる～「県下一周駅伝」～**

2月15日から19日までの5日間、県内の53区間、総距離588.6kmを舞台に「第61回県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催され、12チームが熱い戦いを繰り広げました。

大隅半島を走る大会4日目は、ゴールとなるリナシティかのや前までの10区間109.1km。肝属チームのアンカー平田選手は、大勢の市民の声援を受けながら、区間賞の走りを見せ、日間3位でゴールテープを切りました。また最終日となる大会5日目には、高須～垂水市新城間の3区を鹿屋工業高校の在生学生としては29年ぶりの出場となる城ヶ崎選手が走り、沿道に集まった市民を沸かせました。

5日間総合では、始良チームが大会2連覇。肝属チームは総合6位となり目標としていたBクラス優勝には1歩届きませんでした。

### **共同研究で サプリメントが完成**

2月17日、鹿屋体育大学で「スポーツハイブリッドサプリ」の完成報告会がありました。

これは、スポーツ実施者を対象に製品開発されたもので、原料には地元産サツマイモの「すいおう」と「冬虫夏草」を使用しています。実験に協力した同大学陸上競技部の部員は「疲れにくくなった」とサプリの効果を体感。研究を重ね、約2年で商品化となりました。



### **山宮神社で春祭り**

2月16日、串良町細山田の山宮神社で、昭和37年に県の無形文化財に指定された「山宮神社春祭り」が開催されました。

この春祭りは、五穀豊穡と家内安全を祈願して行われる約400年の歴史を持つ伝統行事です。

堂園、馬掛、生栗須の棒踊り保存会による「正月踊り」、雄かぎと雌かぎを絡ませて引き合う「かぎ引き」、方言を交えながらユーモラスに木製の牛を引いて田をならす「田打ち」が奉納されました。

訪れた多くの見物客は、力強さあり、笑いあいの伝統芸能を楽しんでいました。

### **勇壮! 大木を引き合う「かぎ引き祭り」**

2月16日、上高隈町の中津神社で、豊作と林業の発展を祈願する「かぎ引き祭り」が開催されました。

勝利した地区にその年の豊作が約束されると言われている「かぎ引き祭り」は、二またの雌かぎとかぎまたの雄かぎの2本の神木を絡ませ、上高隈地区と下高隈地区に分かれて引き合う勇壮な伝統行事です。高隈地区に春を呼ぶ祭りとも言われ、約350年以上の歴史を持ち、市の無形民俗文化財に指定されています。

祭りは、ほら貝や太鼓が鳴り響くなか、両陣営が渾身の力を込めて引き合い、下高隈地区が2連勝で見事勝利を飾りました。



### **新規就農者の 門出を祝う**

2月21日、市内のホテルで、新規就農者の門出を励ます会が開催されました。中西市長の激励と就農祝い金の贈呈が行われた後、新規就農者を代表して、鹿屋地区の平岡陽一郎さんが「市の基幹産業である農林水産業の振興のため頑張りたい」と強い決意を述べました。式典後は、認定農業者組織の研修会も行われ、就農者間で見聞や交流を深めていました。

### **市内の教育行政を学ぶ**

2月1日～15日まで、インドネシアの研修員15人が、市内の保育園から大学までの教育行政を学ぶ研修に訪れました。

この研修は、日本の教育行政、小中学校の運営システムなどを学び、自国の教育に生かすことを目的に行われたもの。12日には、高隈小学校を訪れインドネシアでは制度化されていない給食や掃除などについて熱心に学んでいました。

### **ダチョウ料理の 魅力を堪能**

2月12日、リナシティかのやで、ダチョウ肉や卵を使ったフランス料理の試食会が開催されました。これは、県オーストリッチ事業協同組合がダチョウ肉の普及のために行ったもので、低脂肪・高タンパクであるダチョウ肉は健康的な食材として注目されています。参加者は一流シェフが提供する、趣向を凝らしたダチョウ料理8品の味を堪能していました。



### **手作りの 児童公園が開園**

東京都在住の永吉 学さんが、天神町の実家の庭に児童公園を企画・施工しました。

子どもたちの遊び場、日常の休みの場に利用して欲しいと趣味の日曜大工を活かし、20坪の公園を1か月かけて施工。公園には噴水を利用した水車や金魚すくい、水鉄砲などのおもちゃも置いています。児童公園は、10時から17時頃まで利用できます。

### **零戦がやって来た!**

2月14日から16日まで、リナシティかのや前の駐車場に「零戦」が展示されました。

これは、リナシアターで映画「永遠の0」を観た人に、実際に映画の撮影で使われた「零戦」の操縦席に試乗ができるという、特典が付いたイベント。突如まちなかに現れた「零戦」と記念写真を撮る親子連れやカップルなどで、会場は賑わっていました。

### **世界各国で親しまれる 「遊び」を体験**

2月9日、リナシティかのやで様々な国の子どもの遊びを、在住外国人と一緒に体験する「世界の遊び」が行われました。

当日は、外国人14人を含む約100人が参加して、フィリピンの「ブワンプワン(円を使った鬼ごっこ)」など7種目の遊びに挑戦。子どもたちは、初めての遊びに戸惑う姿も見せず、大はしゃぎで遊んでいました。